

なぜ会社は「見えなくなる」のか / 「会社の見える化」講座

Index

- 1 会社が見えていますか？
 - 2 見える化を「グラフ」で行うことの効果
 - 3 なぜ会社は「見えなくなる」のか
-
-

1 会社が見えていますか？

「見える化」は、製造現場などにおいてその重要性が指摘されます。しかし、会社で、見える化を進めるべき点は、製造現場以外にもあります。その1つが財務分野です。財務分野というと、決算書や月次試算表など、豊富な資料やデータがあり、一見すると、見える化が進んでいる分野と感ずるかもしれませんが、しかし、経営に必要な情報が正しく、かつ分かりやすい形で見える化されているかということ、必ずしもそうではないことも多いようです。

そこで、本シリーズでは、グラフを使用して財務分野に関する情報を正しく、かつ理解しやすい形で可視化することを「会社の見える化」とし、会社の見える化を推進することの重要性や、その手段としてグラフを活用することの効果などについて紹介します。

2 見える化を「グラフ」で行うことの効果

1) 見える化の効果1：自社のトレンドを正確に把握できる

経営者であれば、自社の決算書や月次試算表などを見て、常に経営状態をチェックしているはずですが、では、その際、どの数値をチェックしていますか。売上高ですか。利益額ですか。それとも、これらの金額の対前期比の増減額や増減率ですか。もちろん、こうした基本的な数値は、全てチェックする必要があります。そして、さらに一歩踏み込んで、原価率(もしくは粗利率)、人件費額と人件費率に加え、それらの対前期比の増減額や増減率などもチェックする必要があるでしょう。

しかし、これらの数値を全部記憶している人はどれだけいるのでしょうか。「前月の数値はどうでしたか?」「前々月の数値はどうでしたか?」と聞かれて、正確に思い出せない人もいるのではないのでしょうか。

また、当然ですが、会社は動いています。この動きをコントロールするのが経営です。そのためには、自社の動きを正確に捉えることが非常に重要となります。ただし、こうした数値は、ある一時点のもの、すなわち“点の情報”にしかすぎません。こうした断片的な数値を記憶することよりも、トレンドを正確に認識するほうが、経営においては重要となります。そして、そのための最善の方法が、数値を時系列でグラフ化し、会社の見える化を図ることなのです。

別の言い方をすれば、数値をグラフに変換し、状況を可視化して、トレンドに対する正確なイメージを持つことが大切なのです。

サンプルレポート

本レポートは、サクセスネットで公開している
ビジネスレポートの一部を公開したサンプルです。
サクセスネットサイトにログインした後、全文を
閲覧することができます。